

日本経済学会 2014 年度秋季大会

チュートリアルセッション

経済分析における GIS と空間データの活用法¹

慶應義塾大学 河端 瑞貴

概 要

国内外で GIS (地理情報システム) を用いた経済分析が急速に増えています。しかし、多くの経済学者にとって GIS が具体的にどのように有益なのか必ずしも明らかではありません。本チュートリアルセッションでは、まず、GIS とは何か、経済学における GIS 活用の現状と課題、経済分析に有用と思われる GIS の機能、GIS 活用のポイントなどについて解説します。近年、多種多様な空間データが公開・販売されています。そこで、研究に役立つ空間データの選択・入手方法についても解説します。最後に、ヘドニック分析を事例に活用法のデモンストレーションを行います。GIS ソフトウェアには、ESRI 社の ArcMap10.2 を使います。GIS と空間データに関心のある方々のご参加をお待ちしております。

¹ JSPS 科研費 (基盤研究 (B)) 25285080 「都市政策の経済分析における GIS と空間データの活用法」 (研究代表者: 河端瑞貴) の助成を受けました。GIS 利活用の現状と問題点に関するアンケート調査では、多くの研究者にご協力いただきました。ここに記して感謝いたします。